なかやまきんに君 荒川水系流域治水大使に任命！

荒川水系流域治水大使
なかやまきんに君

「流域治水」って難しい話のようですが、
一人一人ができる対策があるんです！
自分の命や大切な人の命に関わることですから
これから僕と一緒に「流域治水」はじめてみませんか？

僕の大使としての活動や「流域治水」に関するコンテンツは、
荒川上流河川事務所のHPをチェック！

荒川水系流域治水

水害から命を守るために、
流域全体ではじめよう

荒川水系（埼玉ブロック）流域治水協議会

さいたま市	戸田市	伊奈町	東秩父村
川越市	入間市	三芳町	美里町
熊谷市	朝霞市	毛呂山町	寄居町
川口市	志木市	越生町	埼玉県
行田市	和光市	滑川町	荒川ダム総合管理所
秩父市	新座市	嵐山町	利根導水総合事業所
所沢市	桶川市	小川町	荒川上流河川事務所
飯能市	久喜市	川島町	荒川調節池工事事務所
東松山市	北本市	吉見町	荒川下流河川事務所
狭山市	富士見市	鳩山町	二瀬ダム管理所
鴻巣市	坂戸市	ときがわ町	埼玉森林管理事務所
深谷市	鶴ヶ島市	横瀬町	熊谷地方気象台
上尾市	日高市	皆野町	東日本旅客鉄道㈱
越谷市	ふじみ野市	長瀞町	東武鉄道㈱
蕨市	白岡市	小鹿野町	西武鉄道㈱

発行：国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所
https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/

2023.6

荒川の流域治水

流域治水ってなんだろう？いっしょに知ってはじめよう！

荒川水系流域治水大使 なかやまきんに君

みんなのパワーが地域のパワー

みんな（by All）で備えよう

荒川水系（埼玉ブロック）流域治水協議会

流域って何だ？？

なぜ必要なんだ？

??流域治水って何??

治水って何だ？？

今どんなことが起きているの??

気候変動の影響により、非常に激しい雨が過去30年間で約1.4倍に増えています。

1時間雨量50mm以上の発生回数
出典：気象庁資料より作成

令和元年東日本台風

令和元年に発生した台風19号により多くの観測所で観測史上最大の雨を記録しました。
荒川流域でも大きな被害が発生しました。

都幾川の堤防が決壊した様子

堤防が決壊した様子
※洪水が落ち着いてから撮影しています

そのため荒川でも「流域治水」が必要です

流域治水＝「流域」全体で「治水」すること

流域治水では、流域に住むあらゆる関係者が協力することが大切です。

これまでは・・・

治水対策は行政が頑張るもの

これからは・・・

みんなができることから対策するもの

トレーニング（学習）ポイント

- ●気候変動の影響で大雨が増えていて、水害が起こる可能性が高まっている
- ●荒川でも被害が発生している
- ●流域に関わるみんなで治水対策を行う「流域治水」が必要

流域で様々な対策ができます!

流域でできる対策はいろいろとあります。
どんな対策があるか見てみましょう。

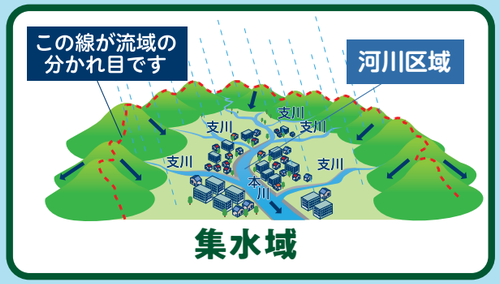
洪水を安全に流す対策（河川区域）

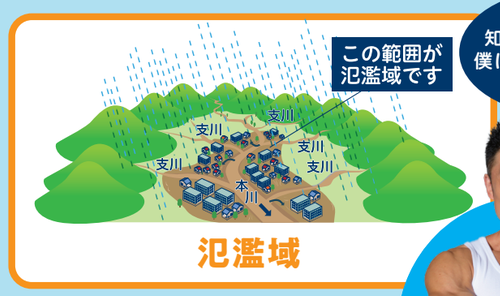
雨水を貯める対策（集水域）

被害を減らす対策（氾濫域）

流域とは・・

降った雨が集まって流れる「集水域」、
洪水の時に浸水する「氾濫域」も含めて一つの流域といいます。
また、堤防と堤防に挟まれた間の区間を「河川区域」といいます。





治水とは・・

洪水によっておこる災害から川の周辺に住む人々や土地を守ることをいいます。

??流域治水ってどんなもの??

トレーニング（学習）ポイント

- ●流域治水の対策は3つの考え方に分けられる
  - ・氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
  - ・被害対象を減少させるための対策
  - ・被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

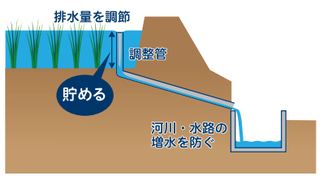
どういう考え方？

集水域で水を貯めたり、
河川の整備を進めて、
河川の氾濫を防ぎ、減らすこと!

どんなやり方があるの？

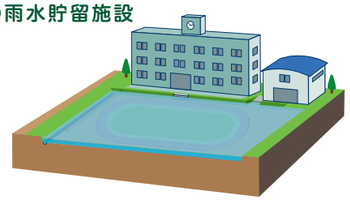
集水域　雨水を貯めて（しみこませて）川に流れ込む水の量を減らす

●田んぼダム



田んぼに貯められる水の量を増やす

●雨水貯留施設

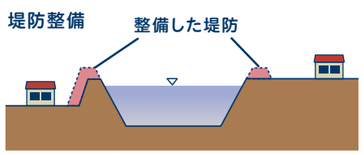


地下貯留槽・貯留管に雨水を一時的に取り込む

河川区域　河川、遊水地などの整備で、氾濫しにくい河川にする

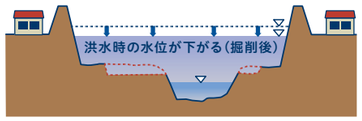
●河川整備

堤防整備



堤防の嵩上げ、新たに堤防の整備を行う

河道掘削（川底を掘る対策）



川底を掘り、流せる水を増やす

●遊水地などの整備

大雨で河川の水位が上がったときに
水を一時的に貯める

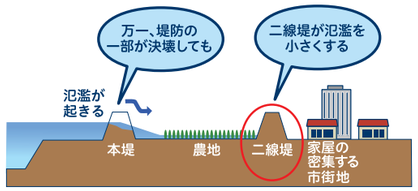
被害対象を減少させるための対策

どういう考え方？

危険な場所を指定したり、
安全な場所への移転を促して
被害対象（建物等）を減らすこと!

どんなやり方があるの？

氾濫域　浸水範囲を広げないための二線堤等の整備・保全

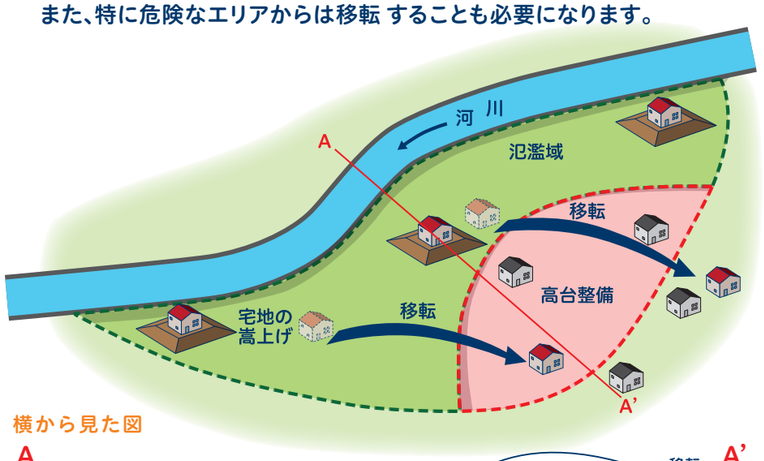


●二線堤

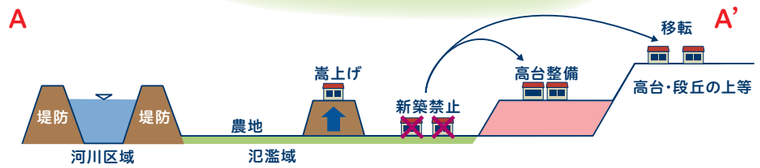
川が氾濫しても浸水範囲が広がらないように、住宅地側にある堤防のこと

氾濫域　危険な場所に住まないための「住まい方」の工夫

氾濫による被害の危険が高いエリアを指定し、新たな開発を規制します。
また、特に危険なエリアからは移転することも必要になります。



横から見た図



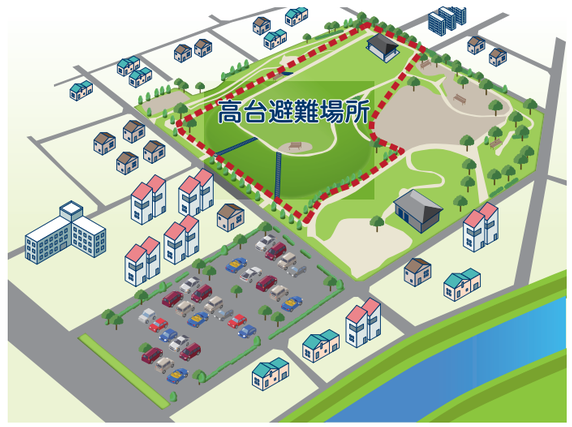
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

どういう考え方？

避難計画を作っておくなど、避難への備えをしたり、
避難場所を整備して被害をできるだけ減らし、
早く復旧・復興すること!

どんなやり方があるの？

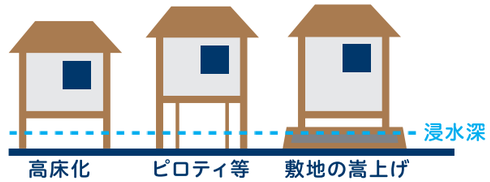
氾濫域　避難施設の整備



逃げ遅れた人が一時的に避難するための場所として、高台避難場所を整備します。

氾濫域　建物や施設を浸水に強い構造にしておく

あらかじめ建物や工場を浸水に強い構造にしておくことで、被害を小さくします。



??荒川流域って どんなところ??

トレーニング（学習）ポイント

- 荒川は、埼玉県と東京都を流れ、東京湾に注ぎこむ河川
- 上流は森林が大半を占めており、下流に向かうにつれて市街地が増えていく
- 氾濫を防ぐため、上流のダム群や、中流の調節池などの施設が作られている

上流

特に急勾配で流れが速く、川底や岸が削られてV字のような谷（**V字渓谷**）がつくられます。

荒川流域は、約45%が森林です。森林は、**水源のかん養**※**や治水**上の重要な役割を担っています。

※かん養：水が自然に染み込むように、ゆっくりと養い育てること。

上流のV字渓谷

森林（秩父市・飯能市など）

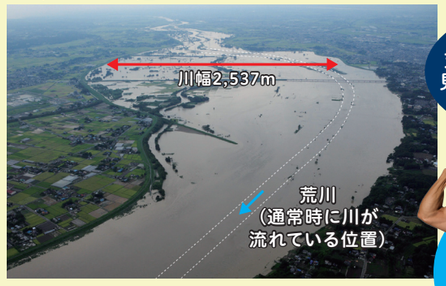
出典：埼玉県ホームページ

中流

山から平野になり、**勾配は緩やか**になります。

中流部には川幅が約2.5kmにもなる場所があり、**日本一の川幅**となっています。

日本一の川幅

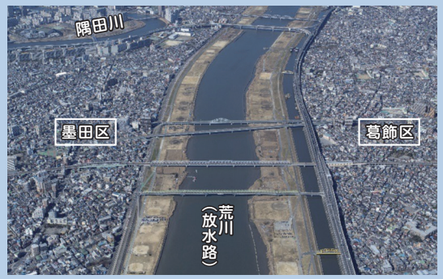


下流

河川の勾配はさらに緩やかになり、平野が広がります。平野部には**市街地**が広がっています。

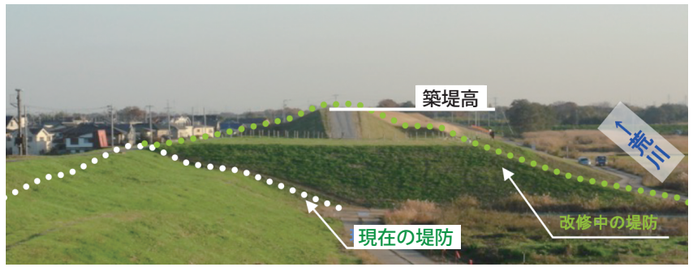
かつて荒川の下流部は川幅が小さく、洪水を流しきることができなかったため、**放水路**と呼ばれる人工の川が新たに掘られました。今の荒川は、人が掘った川なのです。

荒川放水路



荒川本川・支川の河川改修

戦後最大洪水であるカスリーン台風（昭和22年9月）の洪水（入間川では、令和元年東日本台風時の洪水）と同じくらいの洪水が起こっても洪水による被害を防げるように、**河川改修**が進められています。



主な治水施設

①二瀬ダム

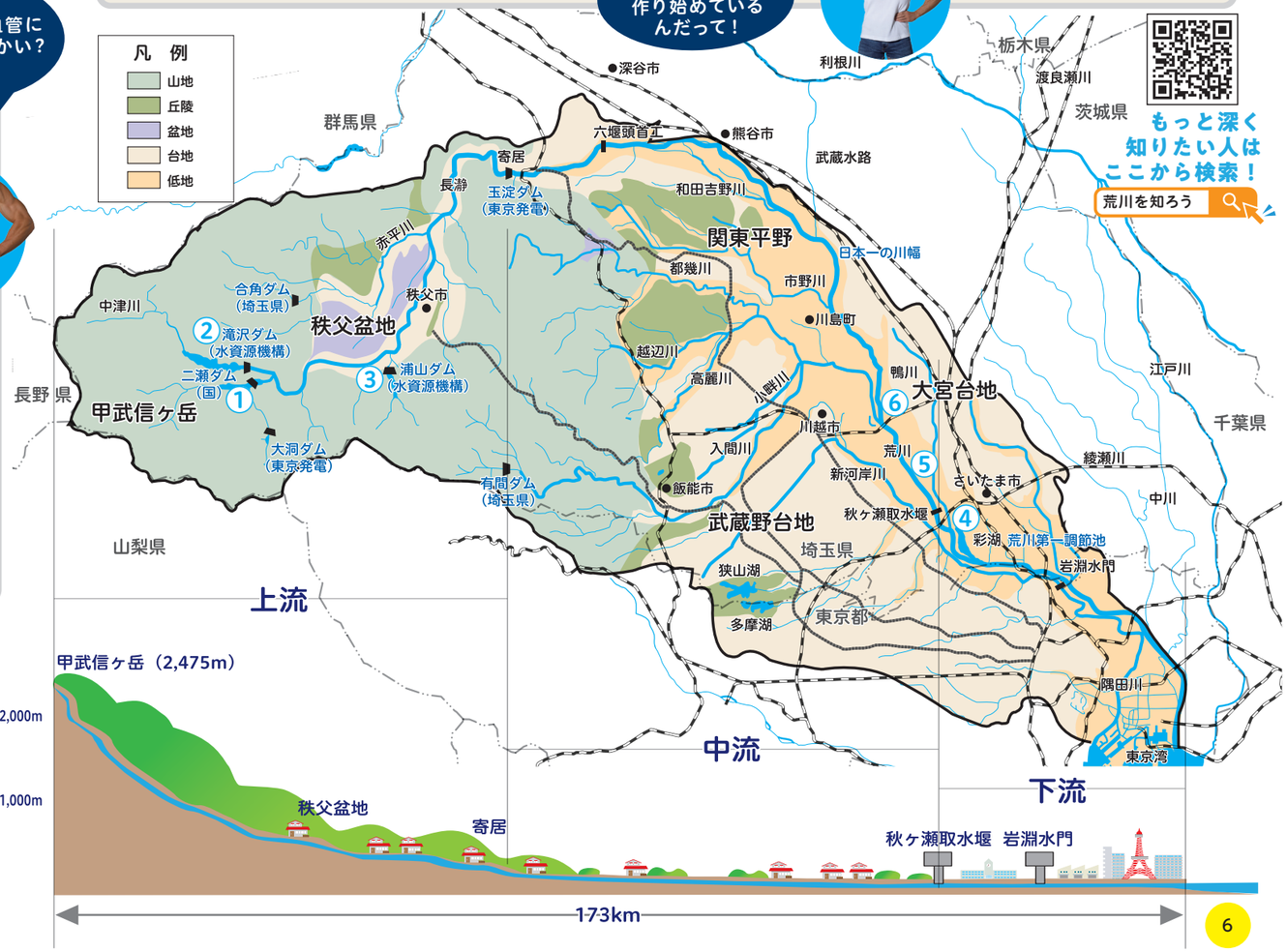
②滝沢ダム

③浦山ダム

④荒川第一調節池

⑤荒川第二調節池（整備中）

⑥荒川第三調節池（整備中）



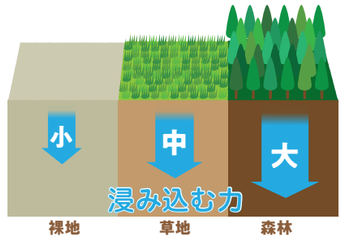
??行政はどんなことをしているの??

トレーニング（学習）ポイント

- ●流域治水の3つの考え方（P3.4）に基づいて、市町村の特徴に応じた様々な対策が進められている
- ●河川管理者は、今までやってきている治水対策を加速して進めている

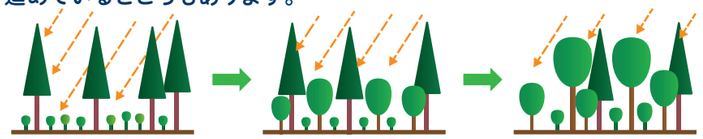
上流　森林整備（秩父市・飯能市など）

森林は適切に管理することで、地中に雨を浸み込ませ、河川の急な増水を和らげることができます。



出典：林野庁　洪水の緩和機能より作成

この森林の機能を最大限に発揮させるために、間伐等の適切な森林整備を進めており、針葉樹と広葉樹を混交させた“針広混交林化”を進めているところもあります。



また、秩父市にある「としまの森」は、姉妹都市の豊島区とともに上下流で協力して整備している森林です。

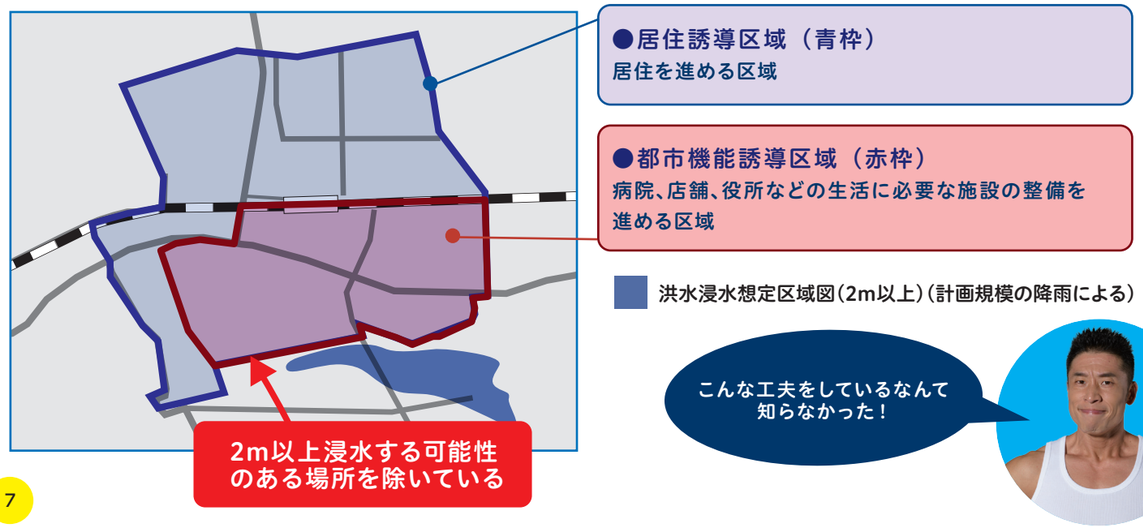
としまの森

中流　危険な場所に住まないための工夫（深谷市など）

持続可能なまちづくりに向けて、市町村が必要に応じてつくる“立地適正化計画”。

大規模な洪水の時に２ｍ以上浸水する可能性のある場所のうち、一部を“居住誘導区域”から除外している自治体もあります。

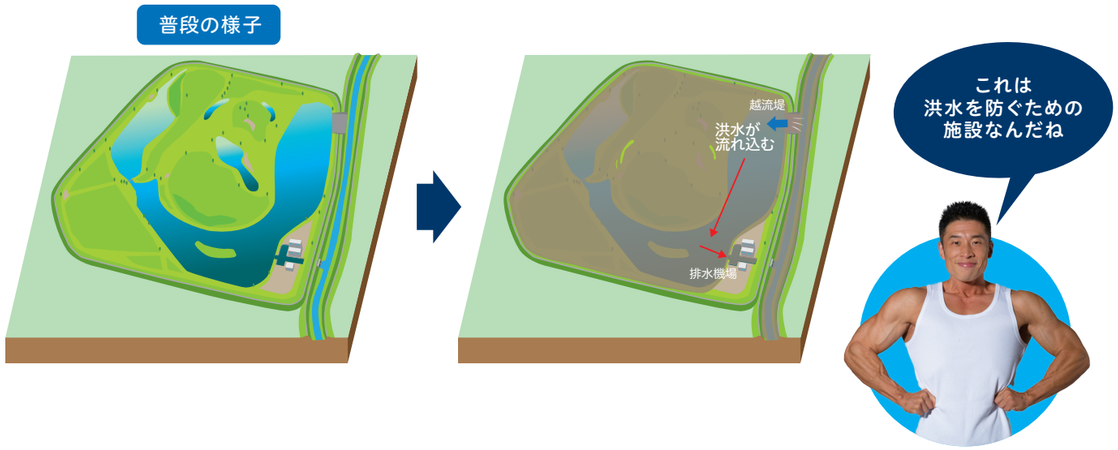
長期的なまちづくりの視点から、「危険な場所に住まない」ための工夫が進んでいます。



中流　調節池の整備（埼玉県・さいたま市など）

平常時には県民が多目的に活用できる空間づくりに配慮しており、洪水時には河川の水を一時的に貯め、下流に流れる洪水の量を減らす“調節池”を整備しています。

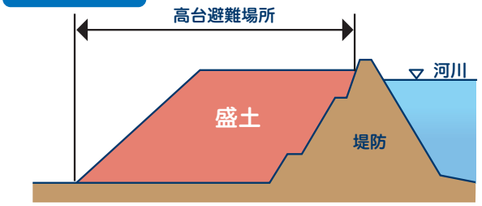
調節池に貯めた水は、下流の水位が下がってから河川に戻します。



中流　高台避難場所の整備（川島町）

大規模な水害時に町全域が浸水してしまう可能性がある地域では、避難が遅れた人が、一時的に、緊急的に避難する場所を整備します。

整備イメージ



他にも様々な対策が進められています

荒川上流　流域治水

対策事例集もご覧ください

??私たちは何ができるの??

トレーニング（学習）ポイント

●避難への備えや、家庭でできるちょっとした心がけや工夫も「流域治水」の対策になる

冷静に避難をするために

日頃からの備え

すぐに避難ができるように、避難への備えをして自分の身を守ることも「流域治水」の取組の一つです。

知る

ハザードマップを確認して、どんな水害リスクがあるかをチェックしよう

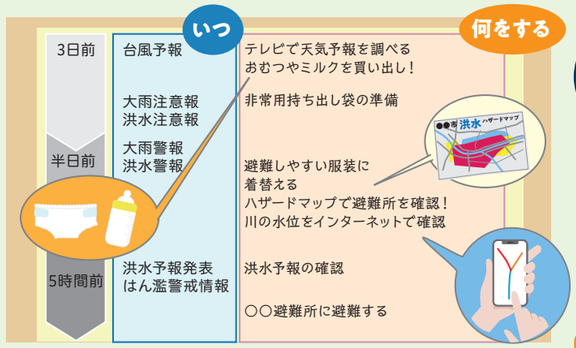
気づく

避難の時にどんな情報が必要になるかを探してみよう

警戒レベル	避難情報等	
5	緊急安全確保	安全な避難ができず、命が危険な状況
	警戒レベル４までに必ず避難	
4	避難指示	避難指示で危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	高齢者や障害のある方は高齢者等避難で避難
2	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）	
1	早期注意情報（気象庁）	

考える

洪水時の具体的な行動を考え、いつ、何をするのか時系列で整理しよう



埼玉県ではマイ・タイムラインの様式が用意されているよ！家族と一緒に書いてみよう！

埼玉県　防災マニュアルブック

マイ・タイムライン

自宅の被害を防ぐために

日頃からできる対策

洗濯・お風呂の時間の工夫

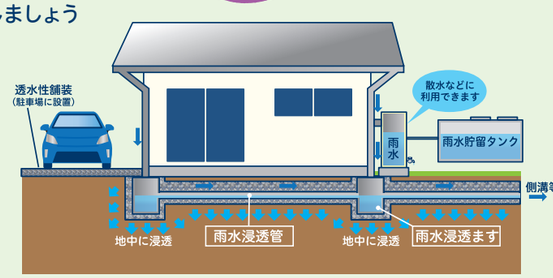
大雨の時は、水の使用を控え、水路に流れる水を減らしましょう

側溝や雨水ますの集水口の清掃

すぐにできる対策もありそう！

自宅の工夫

降った雨水を貯めたり、地中に浸透させたりして川に流れ込む雨水の量を減らすことで、洪水被害の低減に寄与します
自宅でできる対策もあります

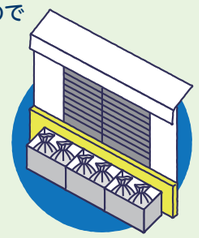


自宅にあるものでできる対策

もし氾濫してしまったときに、自宅に洪水が入ってこないように土のうで対策をしましょう

土のうによる止水

家庭にあるもので自宅の被害を少しでも防ぎましょう

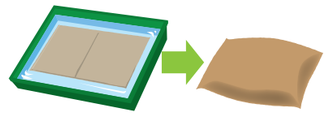


このように作ることができます

簡易土のう

プランターに土を入れる → ビニールシートで巻く

吸水式土のう



水に浸け込む → 完成

身近な治水対策

森林整備や田んぼ保全などの地域の活動に参加することでも治水対策に貢献できます

出典：秩父市HP（秩父森づくりの会）

出典：埼玉県HP（見沼田んぼ農業体験等イベント）